

# 平成23年度 学校経営計画 学校評価指標

江東区立枝川小学校

## 学校教育目標 **進んで学び考える子 互いに認め合い、思いやりのある子 最後までやりぬき、たくましく生きる子**

<b>目指す学校像(ビジョン)</b>	目指す学校像	○楽しい学校(笑顔で登校し、満足して下校できる学校。基礎学力が身につく、自分の良さが発揮できる学校。) ○信頼される学校(安全・安心な学校。地域が誇りに思う学校。連携・協力を重視する開かれた学校。)
	目指す子ども像	○課題に本気で取り組み、学び合って学習する子ども ○互いの人格や生命を尊重し、友達を思いやり助け合う子ども ○最後までねばり強く取り組む強い心や、健康・体力づくりに努める子ども
	目指す教師像	○児童の生命・人権・個性を尊重する教師 ○自ら課題を持ち、積極的に学び、成長する教師 ○子どもの話をよく聞き、よく教え、よく遊ぶ教師 ○教育公務員としての自覚と責任をもち行動する教師

領域	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための具体的方策	評価指標	
				取組指標(教師側)	成果指標(子ども側)
学力の向上	基礎・基本を大切に、自ら学ぶ力の充実を図る	枝川小学習スタンダードの指導を徹底し、児童の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度始めには、全校児童に説明すると共に、各学級で掲示する。</li> <li>毎日の授業で指導すると共に、学期末には児童の定着率を調査し、改善に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習スタンダード」の定着率、90%を目指す。</li> <li>全校で共通した学習の約束により、児童が安心して、戸惑うことのない学習環境をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習スタンダード」を身に付け学習できる児童が、90%以上になるようにする。</li> </ul>
		全校で「枝川タイム」(基礎学習の時間)を実施し、国語の基礎学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝(月曜日は除く)15分の「枝川タイム」を設定し、国語の基礎学力の充実を図る。</li> <li>国語では、学年で統一した漢字を中心とした学習を行う。</li> <li>学期末には漢字の定着率を調査し、指導に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で学習する漢字が、全て読めるようにする。</li> <li>各学年で学習する漢字が、80以上%書けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業までに、小学校で習う漢字1006字をすべて読むことができ、80%の漢字を書くことができるようにする。(マナビフェストより)</li> </ul>
		全校で「枝川タイム」を実施し、算数の基礎学力の定着を図る。算数科少人数学習指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「枝川タイム」で算数の基礎学力の充実を図る。</li> <li>算数では、学年で統一した計算を中心とした学習を行う。</li> <li>2年生から6年生まで、算数の少人数学習を行う。</li> <li>学期末には計算の定着率を調査し、指導に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で学習する四則計算が、できるようにする。</li> <li>各学年で学習する計算で、正答率80%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業までに、四則計算ができるようにする。正答率が80%を目指す。(マナビフェストより)</li> </ul>
		全校で「枝川タイム」を実施し、読書活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「枝川タイム」で全校読書の時間を設定する。</li> <li>保護者にも協力を呼びかけ、読み聞かせも行う。</li> <li>マナビフェストに読書を位置付け、家庭でも読書習慣の形成を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間で50冊(5・6年生は5000ページ)以上読書する児童、80%以上を目指す。</li> <li>読書好きな児童、80%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間で一人50冊(5・6年生は5000ページ)以上読書する児童が、80%を目指す。(マナビフェストより)</li> </ul>
		家庭学習習慣の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で相談し、家庭学習に相応しい課題(宿題)を出す。</li> <li>マナビフェストに家庭学習を位置付け、家庭での学習習慣の形成を図る。</li> <li>学期末には各家庭の様子を調査し、指導に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日家庭学習できるような課題(宿題)を、学年で工夫する。</li> <li>毎日家庭学習をする児童、80%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習が、1・2年生は20分、3年生以上は10分×学年で、80%を目指す。(マナビフェストより)</li> </ul>
豊かな人間性の育成	生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育てる	交流活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲よし学級(特別支援学級)との交流を行う。</li> <li>併設幼稚園との交流を行う。</li> <li>異学年交流活動を実施する。</li> <li>特別支援学校との交流を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲よし学級との相互交流に、各学年で工夫して取り組む。</li> <li>1年生と5年生で幼稚園との交流を年間計画に位置付け、実施する。</li> <li>異学年交流活動を毎月1回実施する。</li> <li>江東特別支援学校との直接・間接交流を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の交流活動で、活動に満足し、互いの良さが認め合えるような感想を持つ児童が、80%以上になるようにする。</li> </ul>
		体験的な活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3・4年生 「えこつくる江東」を活用した環境学習</li> <li>「ボランティアセンター」を活用した福祉教育</li> <li>5年生 田んぼ教室の実施 田植え、稲刈り 農業体験</li> <li>6年生 「自立センターあけぼの」での交流と体験学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に従い、特色ある教育活動を実施する。</li> <li>各学年で、前後期1回以上の体験学習を実施する。</li> <li>体験的な活動が豊かなものになるよう事前指導、事後指導をしっかりと行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の体験学習で、活動に満足し、学習のねらいに沿った感想を持つ児童が、80%以上になるようにする。</li> </ul>
		「枝川小生活スタンダード」の指導を徹底し、児童の定着を図る。全校で一貫した生活指導を推進する。教育相談や学級支援の体制を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度始めには、全校児童に説明すると共に、各学級で掲示する。</li> <li>毎日の学校生活で指導すると共に、学期末には児童の定着率を調査し、改善に生かす。</li> <li>都派遣のスクールカウンセラーを活用し、教育相談機能の充実を図る。</li> <li>学習支援員や小1支援員の活用を図ると共に、高学年には副担任を置き、支援の体制の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活スタンダード」の定着率、90%を目指す。</li> <li>全校で共通した約束により、児童が安心して、戸惑うことのない学校生活を送らせる。</li> <li>いじめの早期発見に努める。不登校ゼロを目指す。</li> <li>スクールカウンセラーとの連携を密にし、児童理解に努める。</li> <li>特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援の体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活スタンダード」を身に付け行動できる児童が、90%以上になるようにする。</li> <li>いじめや不登校児童がゼロになるようにする。</li> </ul>
健康やましく体力の生き生き成る	体力や運動能力の向上を図る	体力・運動能力の向上を図る。体育の授業改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力・運動能力テストの結果を分析し、重点項目を設定して基礎体力の向上をめざす。</li> <li>体力向上推進モデル校としての研究に取り組む。</li> <li>歩数計を活用し、児童の身体活動量を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で体力・運動能力テストの結果をふまえて課題を設定し、体育等の取り組みにより、体力・運動能力の5%向上を目指す。</li> <li>4年生以上の学年で、前後期1回ずつの歩数調査を行う。</li> <li>学級担任による体育科の研究授業、各自1回以上実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力・運動能力テストの記録が、前回より5%上回るようにする。</li> <li>歩数計で「1日1万5000歩」の児童が、80%以上になるようにする。</li> <li>「体育が好き」と答える児童が、80%以上になるようにする。</li> </ul>
		運動好きな子どもを育てる。外遊びが好きな子どもを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週木曜日、「枝川スポーツタイム」を実施する。</li> <li>「長チャレ」や「みんなで遊ぼう」を計画的に実施し、外遊びの楽しさを体験させる。</li> <li>長縄、陸上、サッカー、バスケット等のアスリートを招く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長なわチャレンジ」や短なわ、持久走などの取り組みにより、児童の運動に対する関心・意欲を高める。</li> <li>休み時間に毎日外遊びをする児童、80%以上を目指す。</li> <li>アスリートを招聘し、児童の運動に対する意欲・関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長チャレ」では、8の字跳びと集団跳びの記録が前回よりも上回るようにする。</li> <li>「体を動かすことが好き」と答える児童が、80%以上になるようにする。</li> <li>毎日外遊びをする児童が、80%以上になるようにする。</li> </ul>
		健康の保持・増進に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内における健康教育を推進する。</li> <li>保健学習・指導等を通して、自らの健康に対する関心を高める。</li> <li>校医とも連携し、健康教育の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で、食育に関する学習を年間計画に位置付け実践する。</li> <li>養護教諭との連携を図り、保健学習・指導を進める。</li> <li>4年生では、歯科校医による歯磨き指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の取り組みで、食育や健康に対する意識の高まりが見られるような感想を持つ児童が、80%以上になるようにする。</li> </ul>
地域ぐるみによる教育の推進	地域に開かれた学校づくりを進める	学校からの情報発信を計画的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校経営計画、マナビフェストの説明、ホームページの作成、学校・学年だより等により、学校の説明責任を果たす。</li> <li>学校評議員会を開催し、意見や評価を経営に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初に学校経営計画やマナビフェスト等の説明を行う。</li> <li>ホームページは随時更新し、学校からの情報を発信する。</li> <li>学校評議員会は、年間4回開催する。</li> <li>学校公開後や12月には保護者アンケートを実施し、結果を公表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートによる、「学校の様子がよくわかる」の項目の評価を5%以上高める。</li> <li>学校関係者評価による、「資料は適切」「説明はわかりやすい」の項目の評価を高める。</li> </ul>
		地域に学び、地域を誇りに思える児童を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域人材や施設を教育活動に活かす。</li> <li>総合学習等で地域や学校の歴史を学ぶ。</li> <li>50周年記念誌を活用し学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で、地域学習を年間計画に位置付け実践する。</li> <li>50周年記念誌を学習副読本として活用し、学校や地域を誇りに思える児童を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の取り組みで、学校や地域を誇りに思えるような感想を持つ児童が、80%以上になるようにする。</li> </ul>
		外部の教育力を積極的に活用し、教育の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>2・3年生 町探検 地域の工場や施設の見学等</li> <li>3・4年生 課題別グループによる環境・福祉学習の実施</li> <li>5年生 FC東京によるサッカーキャラバンの実施</li> <li>6年生 エバロウィッキーズによるバスケットボール指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に従い、外部人材を活用した学習を実践する。</li> <li>各学年で、地域の施設や人材を生かした学習を開発する。</li> <li>学習が充実したものになるように、事前指導、事後指導をしっかりと行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の取り組みで、児童の学習意欲の高まりが見られるような感想を持つ児童が、80%以上になるようにする。</li> </ul>